

年末賞与(一時金)の支給状況 《最終集計》

- 本協会が実施した年末賞与(一時金)の支給状況調査(最終集計)では、報告のあった77社の支給額平均は43万4486円で、前年と比べ3万8430円(8.13%)下回り、2年連続のマイナスとなった。マイナス幅はリーマン・ショック後の2009年(マイナス7.7%)を上回り、現在の調査方法になって以降最大となった。

【最終集計】令和2年年末一時金取組状況

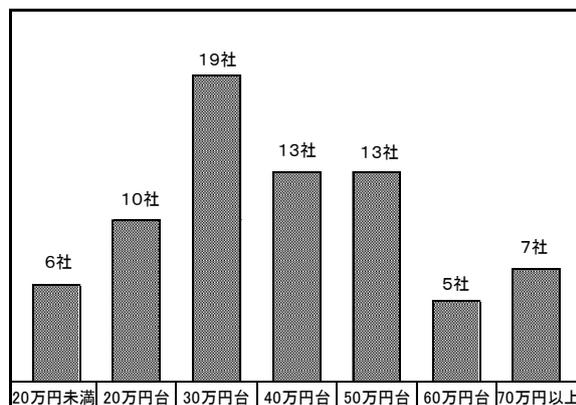
業種	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
製造業計	37	1.92	477,574	-10.33
化学	11	2.03	553,904	-21.40
機械金属	5	1.71	442,077	-17.04
食品	4	3.60	483,250	30.52
金属製品	3	1.88	485,837	-0.25
電気機器	5	2.10	516,891	-4.06
その他	9	1.61	372,938	-14.13
非製造業計	40	1.78	393,665	-4.73
運輸・通信	6	1.88	362,902	-7.53
金融	3	2.20	400,200	-14.79
卸・小売	14	1.77	398,931	-2.74
土木・建設	7	1.68	469,293	-5.75
その他	10	1.67	351,160	-6.26
全平均	77	1.84	434,486	-8.13

規模	社数	支給率(ヶ月)	支給額(円)	前年比金額(%)
100人未満	44	1.78	414,961	0.32
100人~199人	22	1.83	415,383	-18.57
200人~499人	6	2.05	562,440	-5.62
500人以上	5	2.09	598,515	-11.02

※「-」は支給額非公表につき、数値を伏せているが、平均値には含む。

- 業種別にみると、製造業は47万7574円で前年と比べ5万5046円、率にして10.33%下回り、2年連続のマイナスとなった。6つの業種のうち食品を除く5業種で前年を下回り、うち3業種で2桁のマイナスとなった。製造業として、2009年(マイナス13.5%)に次ぐ過去2番目の下げ幅となった。
- 非製造業は39万3665円で前年と比べ1万9547円(4.73%)前年を下回った。2年連続のマイナスで、5業種すべてがマイナス。運輸・通信、土木建設、その他サービスで5%を超えるマイナスとなった。
- 規模別では、100人未満で前年をわずかに上回ったが、他の3区分でマイナスとなった。
- 支給額の分布では、30万円台が19社と最も多く、次いで40万円台と50万円台がそれぞれ13社ずつ続いた。70万円以上7社のうち、製造業が6社を占めた。
- 前年の支給額と比較できる74社のうち、前年を下回った企業が40社と全体の54.0%を占めた。上回ったのは27社(36.5%)、昨年と同額は7社(9.5%)だった。

支給額の分布



増減率(対前年)の分布

